

# 患者支援の取組について

2009年8月5日

NPO ジャパン・ウェルネス

# The Wellness Community の国際ネットワーク



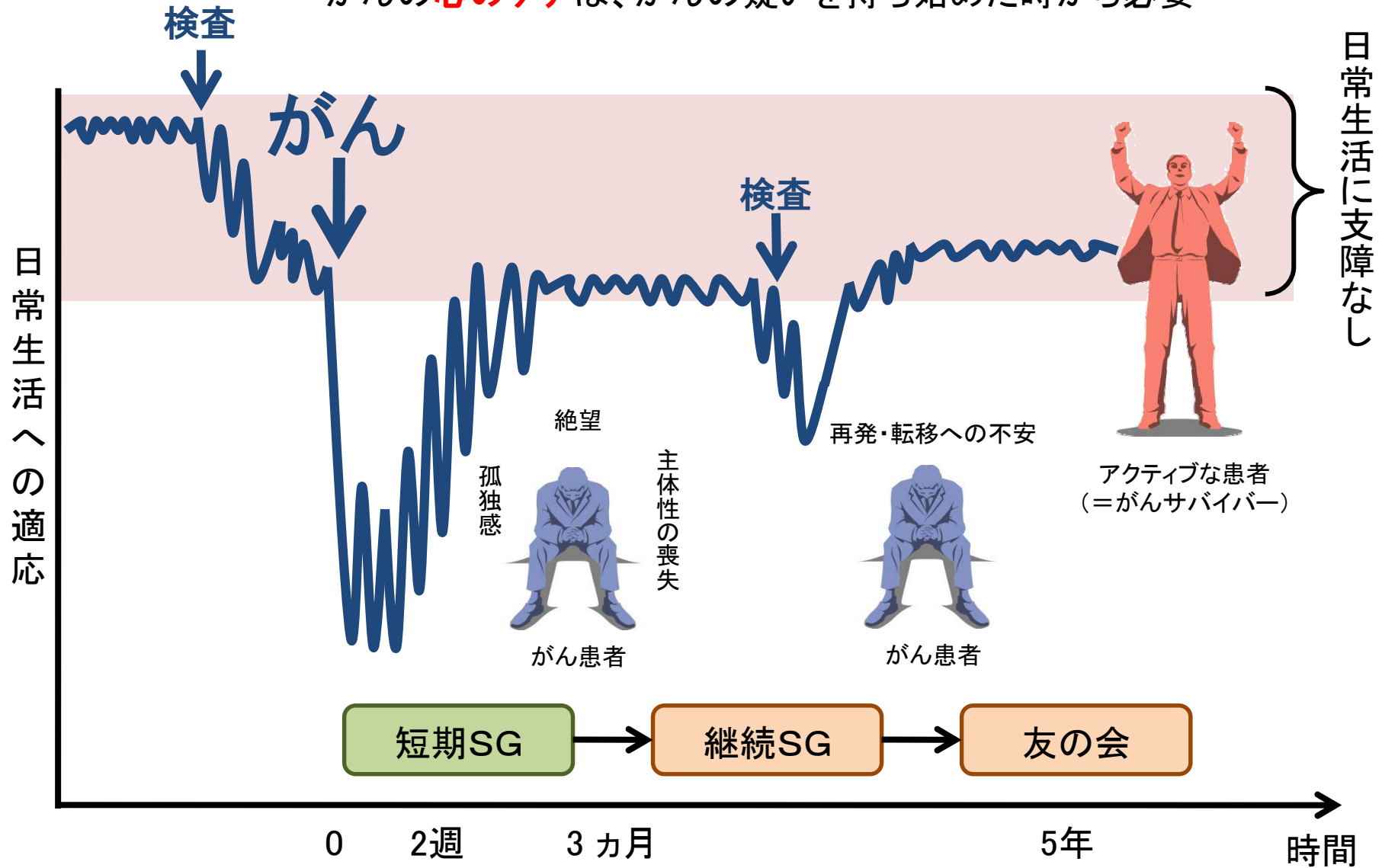
- a. 地域社会にねざした国際的非営利団体として、Harold Benjamin博士によって1982年に設立された(現在、世界33拠点)。
- b. 心のケア、患者教育、希望をもたらす専門的なプログラムの提供により、がん患者と家族のWellnessを促進することをサポートする。
- c. スタンフォード大学、カリフォルニア大学サンフランシスコ校の協力により、科学的根拠に基づくQOLの向上、疲労の回復、うつ病の改善、不眠症の解消、治療に伴う副作用を軽減させるプログラムを提供している。

## ジャパン・ウェルネスの8年間のあゆみ

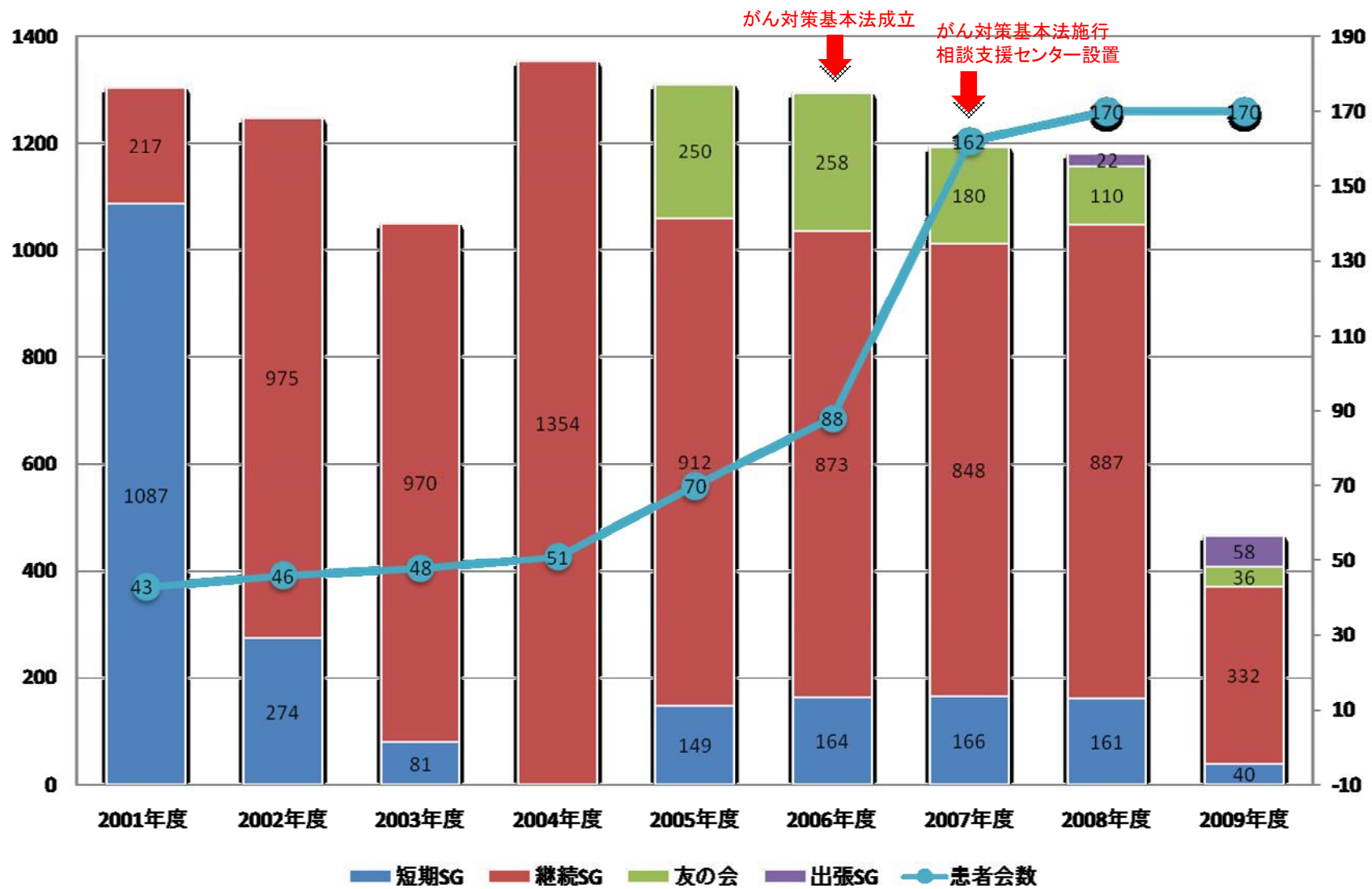
年	月	主な出来事
2001年	5月	The Wellness Community(以下、TWCと略記)の日本支部として竹中文良によって東京都港区赤坂に開設
2002年	11月	竹中文良理事長、米国Washington D.C.で開催されたTWC創立20周年記念行事に出席。日本の現状を講演
2003年	12月	京都大学、明海大学、野村総合研究所との共同研究3Dオンライン・メディカル・フォローアップ・システム実証実験をスタート
2004年	4月	厚生科学研究事業「尊厳死に関する研究」(主任研究者:松島英介・東京医科歯科大学大学院)に分担研究者として参画
	9月	TWC-CincinnatiよりHarry Davidow氏が来日、ジャパン・ウェルネスを視察
	12月	TWC本部より会長K. Tiboldeaux氏、副会長M. Golant博士が来日、よみうりホール(有楽町)で講演
2006年	3月	American Cancer Society(米国がん協会)の副会長Nathan Grey氏が来日、会談
	7月	竹中文良とジャパン・ウェルネス、がん患者と家族に対する心のケアへの貢献として第54回菊池寛賞を受賞
	7月	TWC-San FranciscoよりMichiyo Ambrosius氏が来日、ファシリテーターに対する夢分析の講義を実施
	9月	(財)日本対がん協会より「Relay For Life Japan 2006」への貢献から感謝状を授与
	11月	TWC本部より会長K. Tiboldeaux氏、副会長M. Golant博士が来日、よみうりホール(有楽町)で講演
2007年	4月	(財)正力厚生会がん患者団体支援事業「ファシリテーター育成プログラム開発事業」を実施
	9月	竹中文良理事長、Relay For Life Japan 2007東京実行委員長として日本初の24時間チャリティイベントを運営(船の科学館)
	10月	(財)日本対がん協会より「Relay For Life Japan 2007東京」への貢献から感謝状を授与
	11月	大井賢一プログラムディレクター、米国Washington D.C.で開催されたTWC創立25周年記念行事に出席。日本の現状を講演
2008年	4月	第一三共グループと全てのがんと向き合う人たちを支援することをめざす協働企画「Rainbowキャンペーン」をスタート
	4月	Lance Armstrong財団スタッフが来日、イタリア、日本、インド、メキシコ、南アフリカのがん患者サポートの現状調査に協力
	12月	港区みなと保健所が主催する「在宅緩和ケア研究会(仮称)」に参画
2009年	1月	がん戦略研究の一環として、がん患者・家族総合支援センター(柏市)で出張サポート・グループ事業をスタート
	3月	港区より「在宅療養診療所アンケート調査委託業務」を受託
	3月	港区より「緩和ケア講演会運営業務委託」を受託
	4月	(財)正力厚生会がん患者団体支援事業「がん患者・家族総合支援センターにおけるサポートグループ運営事業」を実施予定

# NPOジャパン・ウェルネスにおけるサポート・グループの位置づけ

がんの心のケアは、がんの疑いをもち始めた時から必要

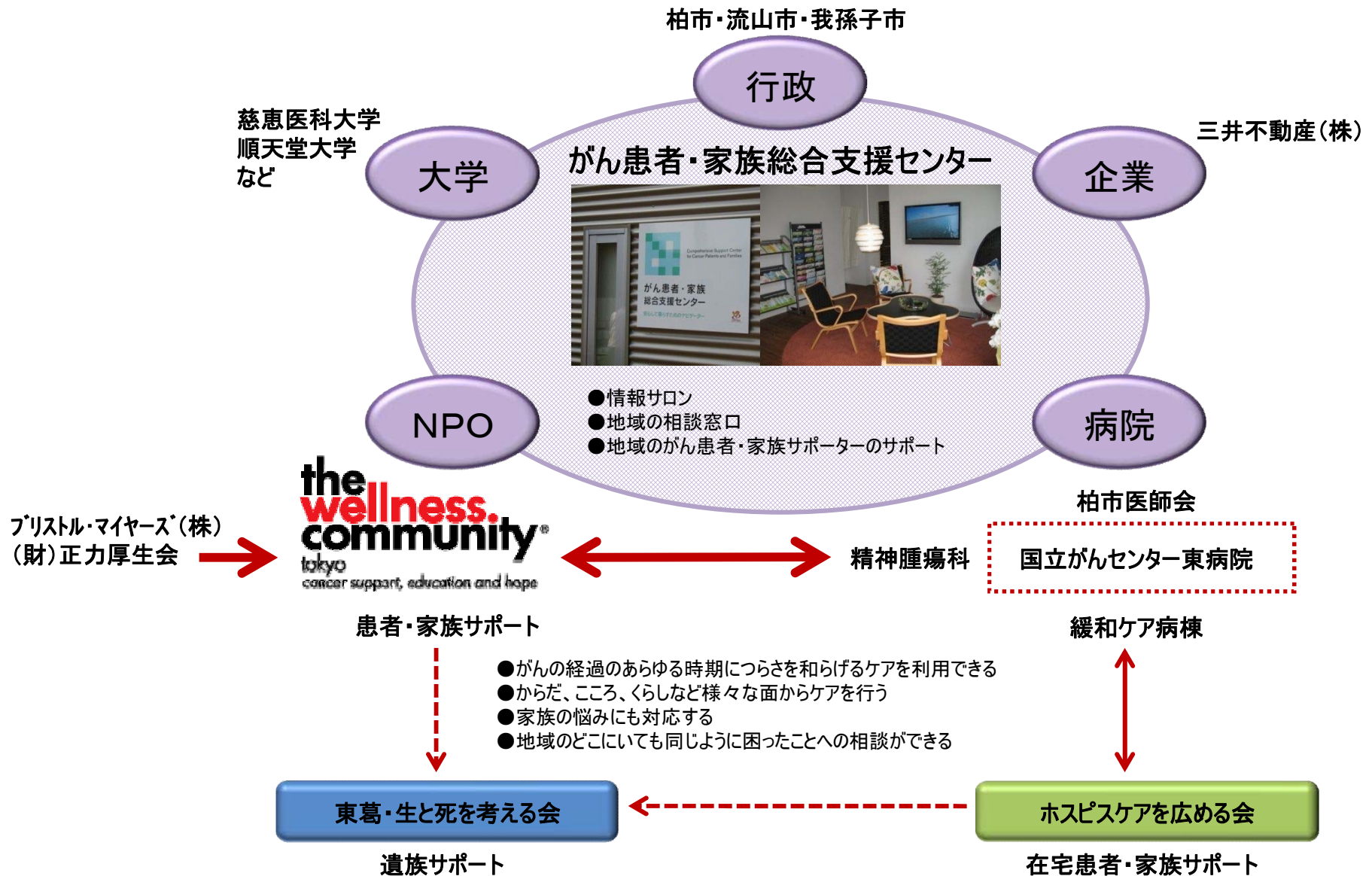


# NPOジャパン・ウェルネスにおけるサポート・グループ参加者推移(2001-09)

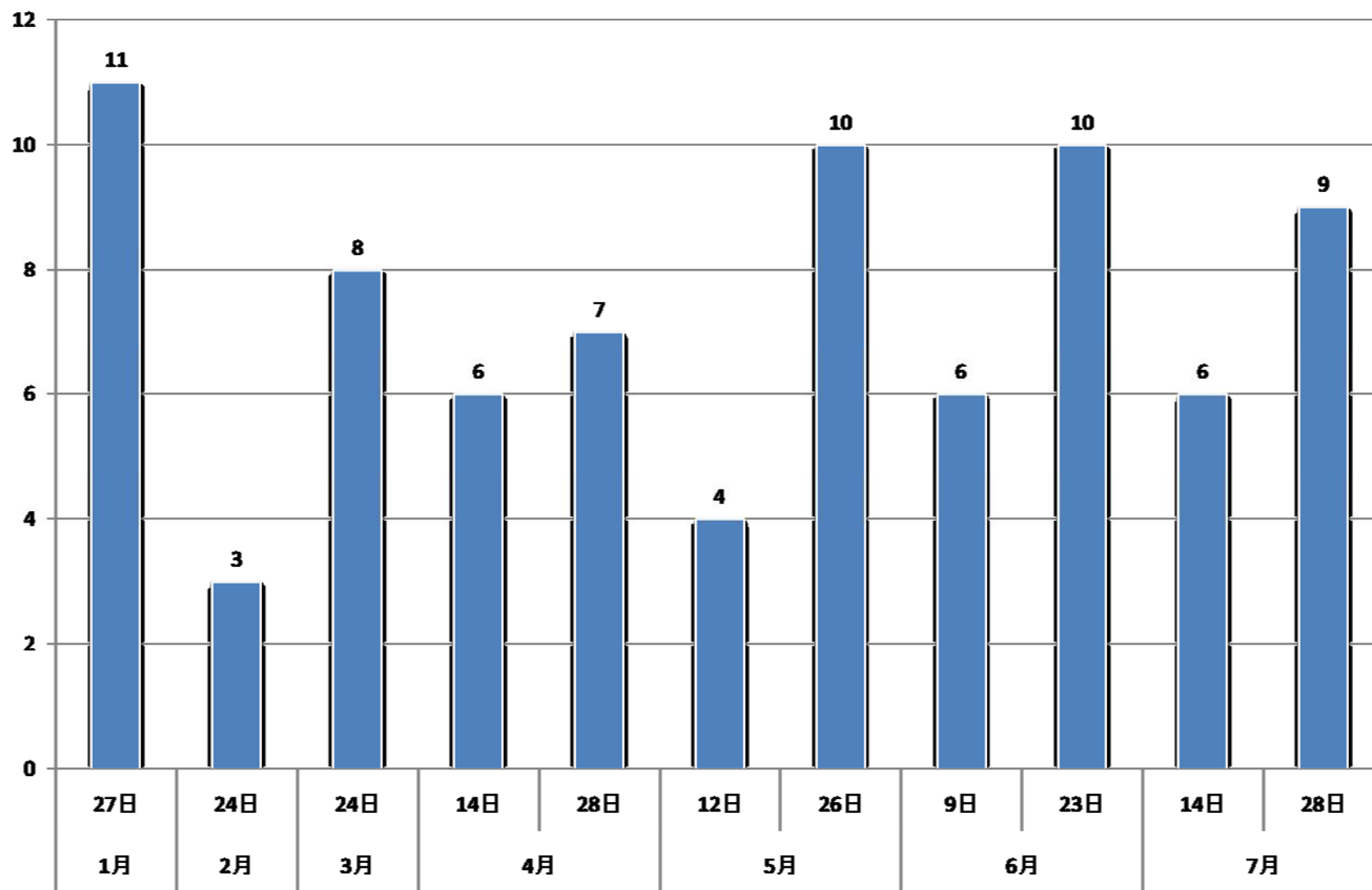


# がんになっても安心して暮らせるまちづくり—柏市・流山市・我孫子市

がん対策のための戦略研究「緩和ケアのための地域プロジェクト」(2008年4月～2011年3月)



# がん患者・家族総合支援センターにおける出張サポート・グループ参加者数



# がん患者・家族総合支援センターにおける出張サポート・グループ参加者の居住エリア

